

策展開は、事業の選択と財源の重点化による基盤整備を行うことも必要である。市制施行100周年に向け、市民の皆さまとともに真の住民自治につながる施策を積極的に進める。

◆関連質問

- ・第四次福山市総合計画後期基本計画(素案)について (明政会)
- ・第四次福山市総合計画について (水曜会)
- ・第四次福山市総合計画について (新政クラブ)

松永地域の課題について

問 松永駅周辺の流動客数は年々減少している。にぎわいを取り戻すことは、地域の活性化にとって重要な課題である。①松永駅北口を中心とした都市マスタープランの取り組みは。②都市計画道路松永港本郷線の今津町三丁目交差点の渋滞対策は。

答 ①松永駅周辺地区は、都市マスタープランで西部地域の拠点と位置付け、生活サービス機能の充実や交通結節点機能の強化などを推進することとしている。現

在、松永駅のバリアフリー化に取り組んでいる。②渋滞解消については、今後、実態を見る中で、関係機関へ要望する。

公明党



黒瀬 隆志 議員

学校図書館の充実

問 学校図書館は、児童生徒の人間形成や豊かな情操を養う上で重要な役割を担ってきた。しかし、現在、人的・物的整備の面で課題を抱えている。①本市の整備状況は。②児童生徒が積極的に活用したくなるような図書館整備に取り組む考えは。

答 ①図書館担当職員は配置していないが、担当教諭やボランティアで対応している。図書標準は、学級数の増加により小中で3校が不足、蔵書のデータベース化は小学校44校、中学校21校で実施新聞の配備は小学校13校、中学校1校だが、全ての学校で新聞を活

用できる。②今後も、児童生徒の主体的、意欲的な学習活動や読書活動を支える学校図書館の一層の充実を図る。



城東中学校の学校図書館の様子

被災者支援システムの導入は

問 被災者支援システムは、災害発生時に自治体が行う復旧業務や被災者に必要な支援をスムーズに実施することを目的とするもので、被災者の生活再建に向けて必要となる膨大な行政事務を効率的に行うことが可能となる。導入している自治体数は、このたびの東日本大震災以前は220だったが、7月末で

550を超えるまでに急増したと聞いている。本市へ導入する考えは。

答 導入については、住民基本台帳など、本市の他のシステムとの整合を図る必要があるなど、幾つかの課題もあり、システムの構築について、今後、調査・研究していきたい。

新政クラブ



高橋 輝幸 議員

市制施行100周年の記念事業は

問 本市は、市制施行50周年の記念事業として福山城を再建し、60周年では水野勝成公の銅像を建立した。また、95周年の今年には市立大学の開学などを行っている。100周年では、後世に伝えられ、本市のシンボルとなる記念事業を市民参加型で行う企画を進めてはどうか。

※図書標準：文部科学省が定めた、公立の義務教育学校の学校図書館に整備すべき蔵書の標準数。